

うに郷通信

No.87
平成28年(2016)9月



発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

「第9回コスモスまつり開催」に向けて



「第9回コスモスまつり」に向けての準備作業が各町で進んでいます。猛暑の中でしたが、除草剤散布作業を7月の下旬に適時行い、7月30日(土)～31日(日)には草刈り作業を実施しました。

その後、夏割、サイサイまつりなどの行事が重なるなど忙しい中でしたが、各町子供会にも参加をお願いし、ウォーキングコース予定の市道や花畑へのコスモスの種まき作業を8月6日(土)～7日(日)に行いました。

お母さんやお父さんと一緒に「早く大きくなりますように」「きれいな花が咲きますように」と子どもたちが願いを込めながら、コスモスの種まきをしてくれました。

今年も10月23日(日)のコスモスまつりには、きっと白やピンクや赤のきれいなコスモスの花が散策道やコスモス畑に咲いてくれることでしょう。なお、末尾となりますが、猛暑の中各種ボランティア作業に参加していただきました各町役員様をはじめ有志の方々、まことにありがとうございました。

(花畑街道部会)

スポーツクラブ21宇仁の協議会加入について

「スポーツクラブ21宇仁」は、去る7月2日の宇仁郷まちづくり協議会総会で加入の承認を得て、協議会の仲間入りをする事になりました。

あらためて当クラブを紹介いたします。平成15年11月より活動を始め、現在会員は148人です。ウォーキング、グラウンドゴルフ、ゴルフ、健康体操、ヨガ、ゲートボール、山遊会、ふるさと太鼓、フットサル、ソフトバレー(テニス、F・バドミントンは休部中)の10種目があります。会員は、全てのクラブに入ることができ、入退部は自由で、再入部も可能です。

現在私たちの周りでも「高齢化社会」が進行中ですが、いくら長寿になろうとも「健康」でなければその意味がありません。健康維持の秘訣は「体を動かすこと」です。人間の身体は動かさなければ、作らなければ脳は「不要」と判断して、退化がどんどん進むといわれています。そうなる前に体験入部して、わが身に合った運動種目を見つけてください。1人では継続がむづかしくとも、友がいれば長くやっていくことも可能です。みんなで一緒に頑張りましょう。

(スポーツクラブ21部会長 山田 弘)



サイサイまつりに出店しました！

去る 8 月 7 日の日曜日、「宇仁の朝市」は前年に引き続きふれあい喫茶の面々とともにサイサイまつりに出店しました。午前 8 時から 12 時までの 4 時間、市庁舎東の職員駐車場において行われ、全部で 13 団体が参加していました。

今年は、翠ヶ丘、ぼかぼ、サイサイまつりと3日連続して朝市を開催したため品数が少なめで心配しましたが、何とかお客さんのご要望に応えることができましたと思います。また、昨年と同様猛暑で、熱中症にならないようこまめに水分を補給しながら他の参加団体との交流も図ることができました。

(朝市部会)



夏休み子ども塾を開催しました

8月9日(火)ふれあい交流広場の活動の初の試み「夏休み子ども塾」を開催しました。子ども21人、兵庫教育大のボランティア学生4人、保護者お父さん1人お母さん5人、協議会5人、スタッフ3人の計39人と、たくさんの人との交流となりました。当日は宇仁小学校の先生にも大変お世話になり、ありがたかったです。



午前中小学校の教室をお借りして、工作やポスター、習字のクラスと、勉強のクラスに分かれ、大学生に教えていただきました。それぞれ集中して自分の宿題に取り組んでいたように思います。その間に大人チームは、お昼ごはんの準備で、外で大きな鉄板で焼きそばを作ったり、ふれあい館でおにぎりを結んだり、お手伝いいただき、大変助かりました。皆が責任をもって気持ち良く段取り良く関わってくださったので、とても楽しい会になりました。

《ボランティア学生から一言(板倉加奈)》

宇仁子ども塾で子どもたちと一緒に活動し、とても楽しく過ごさせてもらいました。里山を元気に案内してくれたり、夏休みの工作やポスター作り勉強にと、熱中した子どもたちの生き生きとしている姿を見ることができ、とても有意義な時間でした。有難うございました。

(ふれあい交流広場)

宇仁郷歴史資料館だより ③-5 近世の宇仁郷

赤穂藩浅野家が加西・加東郡を統治した時代の史蹟を紹介します。

(1) 久学寺(加西市・上芥田)

碑文によれば、曹洞宗・文安3年(1446)創建、初代藩主浅野長直公が領内巡視の際久学寺に宿泊。時の住職6世和尚に深く帰依、浅野家の菩提寺としての弔祭を依頼、田畑、山林を寄付された。元禄14年(1701)時の城代家老大石内蔵助が久学寺にて3代藩主長矩公の江戸城での刃傷事件を知り急遽帰藩する。長矩公と吉良邸に討ち入りした赤穂浪士の法名は久学寺9世和尚が授けたと記する過去帳が遺存している。



(2) 内橋直昭家の記念碑と古文書(西脇市・落方)

・記念碑

大石内蔵助、吉田忠左衛門等の赤穂藩関係者と芳田村の大庄屋内橋家との関わりを記した記念碑を明治30年(1897)に大田傳吉が建立している。また、記念碑の隣に吉田忠左衛門を偲ぶ「吉田宮」がある。

・古文書

赤穂藩の飛び地62ヵ村18,333石の村別内訳(作用郡5ヵ村1,212石・加西郡33ヵ村8,920石・加東郡24ヵ村8,201石)が記載された年貢帳が保存されている。



開館日 第1・3日曜9時30分~12時